

令和 2 年 4 月 22 日

Information

公益社団法人 全日本広告連盟

〒104-0061

中央区銀座 7-4-17 (電通銀座ビル 7F)

TEL. 03-3569-3566 FAX. 03-3572-5733

記者各位

第14回「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞」に

「#ThankYouFromKAMAISHI」(実施:同・実行委員会)

第 14 回「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞」選考委員会が 3 月 27 日に開かれ、応募 13 広告協会 15 キャンペーン作品の中から、「#ThankYouFromKAMAISHI」(同・実行委員会/事務局:岩手日報社)が選出された。また、選考委員会特別賞に、福島民報社による「防災・減災キャンペーン」が選ばれた。

両賞とも全日本広告連盟(大平明理事長)理事会で承認を得て正式決定となる。贈賞は、5 月 21 日の第 68 回全日本広告連盟ふくしま大会式典(新型コロナウイルスの影響によりインターネット中継形式で開催)席上で行われる予定。

■第14回「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞」

タイトル/「#ThankYouFromKAMAISHI」

表彰/「#ThankYouFromKAMAISHI」実行委員会(事務局:岩手日報社)

実施/「#ThankYouFromKAMAISHI」実行委員会

応募/岩手広告協会

■第14回「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞」選考委員会特別賞

タイトル/「防災・減災キャンペーン」

表彰/福島民報社 実施/福島民報社 応募/福島広告協会

【全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞とは】

全広連三代目理事長・鈴木三郎助氏からの寄付金を基に平成19年度より実施している全広連顕彰。地域の活性化に貢献した優れた広告キャンペーンを顕彰することにより、フォローを生み出し、各地の地域活性化に貢献する広告キャンペーンが多数生まれることを目的に、全国各地で展開されたさまざまなキャンペーン活動の中から最も優れたものを顕彰している。また、広告活動の中でその業績ならびに活動を特に認めた場合は、「選考委員会特別賞」を贈呈する。第10回(平成28年)より、贈賞の趣旨を明確にするため「全広連鈴木三郎助大賞」から「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞」へ改称。

当リリースに関する問い合わせは全日本広告連盟(☎03-3569-3566)まで

◆「#ThankYouFromKAMAISHI」 贈賞理由

2019年のラグビーワールドカップにおいて、東日本大震災被災地から唯一の開催地となった岩手県釜石市から世界中に対してこれまでの支援への感謝を伝えようと企画され、官民あわせ19団体（※）による実行委員会により、イベント・OOH・新聞・テレビ・WEB・SNSなど多面的な活動を行った。

同年に全線開通した三陸鉄道リアス線のラッピング車両制作、試合会場である釜石鶴住居復興スタジアムに三陸特産のホタテ貝によるモザイクアート「ありがとう貝画」の設置、感謝を伝える歌「ありがとうの手紙#ThankYouFromKAMAISHI」も制作された。

スタジアム及びファンゾーンには釜石の小学生による9か国語での「ありがとう」横断幕の展示やメッセージ寄せ書きバナーを設置し、訪れた方々からの励ましの言葉や、感謝の言葉などが多数寄せられた。歌は試合本番のスタンドで地元の子供たち2000人によって合唱され、大きな感動を呼んだ。予定された2試合のうち1試合は台風19号で中止されたが、カナダ代表によるボランティアの支援を得て、この様子も含めた映像を制作。運営再開後のファンゾーンで上映され、再びの被災となった釜石市民に「釜石は、負けない。」と呼びかけ勇気づけた。

歌はその後行政による各種行事や映像にも使用されるなど、「すべての人に、ありがとう」を合言葉に子供から大人まで多くの市民の力を得て取り組んだ活動は、釜石の将来へのレガシーにつながるものとなった。

2019ワールドカップというチャンスを最大限に生かしてこれまでの支援への感謝を伝えるというコンセプトと、行政・団体と共に広く子供から大人まで多くの市民を巻き込み時間をかけて準備を重ね、幅広いメディアを生かしたコミュニケーションを行った点が高く評価された。

（※）#ThankYouFromKAMAISHI 実行委員会（事務局：岩手日報社）

釜石市、ラグビーワールドカップ2019釜石開催実行委員会、三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会、釜石商工会議所、釜石観光物産協会、釜石市教育委員会、かまいし絆会議、釜石駅前商業協同組合、釜石青年会議所、三陸ひとつなぎ自然学校 根浜MIND、NEXT KAMAISHI、釜石シーウェイブスRFC、三陸鉄道、岩手大学、IBC岩手放送、スマイルとうほくプロジェクト、岩手日報 釜石広華会、岩手日報社



◆「防災・減災キャンペーン」贈賞理由

東日本大震災がもしも夜に発生していたら……避難訓練は日中に行われることが多いが、夜間在宅中に地震が発生した場合の避難行動について啓発と備えを呼びかけるキャンペーンを新聞・ラジオ・WEBで展開した。災害時に強みを発揮するメディアであるラジオの特性を生かし、電気を消した暗闇の状況下でラジオの音を聴きながら、布団の中から玄関まで避難する訓練プログラムを福島民報社とラジオ福島が、地域防災支援協会監修の元、共同で開発。ラジオ福島と番組提携して『夜の避難訓練』をOA。大学生が避難訓練した様子を採録紙面で紹介した。

一連のキャンペーン期間中に台風19号による甚大な被害がもたらされたため、「いのちを守るために～住民の声から～」シリーズを追加展開。大学生が台風被害の実体験を共有する座談会を開催し、紙面・ラジオで紹介した。11月の世界津波の日には4コマ漫画「ゴンちゃん」と連動した啓発紙面を制作し、アニメーション化した動画をYoutubeチャンネルでも公開した。

夜間避難の備えの啓発と、防災・減災の意識を若い人々に受け継ぎ、東日本大震災で得た県民の教訓を次代に受け継ぐことを目指した。

「夜間の避難」という福島のみならず日本全国に共通する課題を捉えた着眼点と、災害に強いメディアであるラジオの特徴を生かしたキャンペーン設計で、人を動かし社会に貢献する取り組みである点が高く評価された。

もしも、あの地震が、
あと6時間ずれていたら。

【夜間の避難訓練】3ステップ

1. 地震発生時の対応
2. 避難経路の確認
3. 避難行動の実行

夜の避難訓練
3/11 20:30 ラジオ福島にてON AIR!

福島民報社 × ラジオ福島
監修：一般社団法人 地域防災支援協会

もし、夜に地震が起こったら…

「夜の避難訓練」3ステップ

1. 地震発生時の対応
2. 避難経路の確認
3. 避難行動の実行

夜の避難訓練
3/11 20:30 ラジオ福島にてON AIR!

福島民報社 × ラジオ福島
監修：一般社団法人 地域防災支援協会

日頃から訓練を繰り返し、防災意識を高めましょう

会津工業株式会社 | 会津山崎工業株式会社 | 会津アポロ警備 | 会津自動車保険 | カオナビ | KURABA | 株式会社フリースペース | 株式会社クリフ | 株式会社クリフ | ケイビ | D2ケーヨーデイズ | COOP コープふくしま | 郡山開成学園 | 郡山女子大学 | 生命保険協会 | 株式会社ニノテック | JT 日本たばこ産業 | 株式会社バンダイ南信 | FIRSTCLOCK | 福島放送 | みちのく放送 | 福島県民会館 | 福島県民会館 | 福島県民会館